

ある初夏の夜 私は暗闇に紛れ
最終列車が走り去るのを
静かに見守っていた

行ったか…

ここは山間にある
小さな無人駅

以前は集落も在ったそうだけど
今は近くの山に登る人達が
時々使う程度だとか…

平日だし誰も
降りてこないね…

待合室も
無人…と



夜の無人駅…

なんか
不思議な感じ

私はそんな場所にとある目的で訪れている



その目的は



びっくりした
タイマーで消えるんだ

まあ…夜は誰も
使わないもんね

それなら…

「こ」で準備しても
問題ないか…

さて軽く周囲の
様子見を…

わあ…
ホームに裸で
出ちゃった

私は手早く全裸になり
駅の構内を見て回る

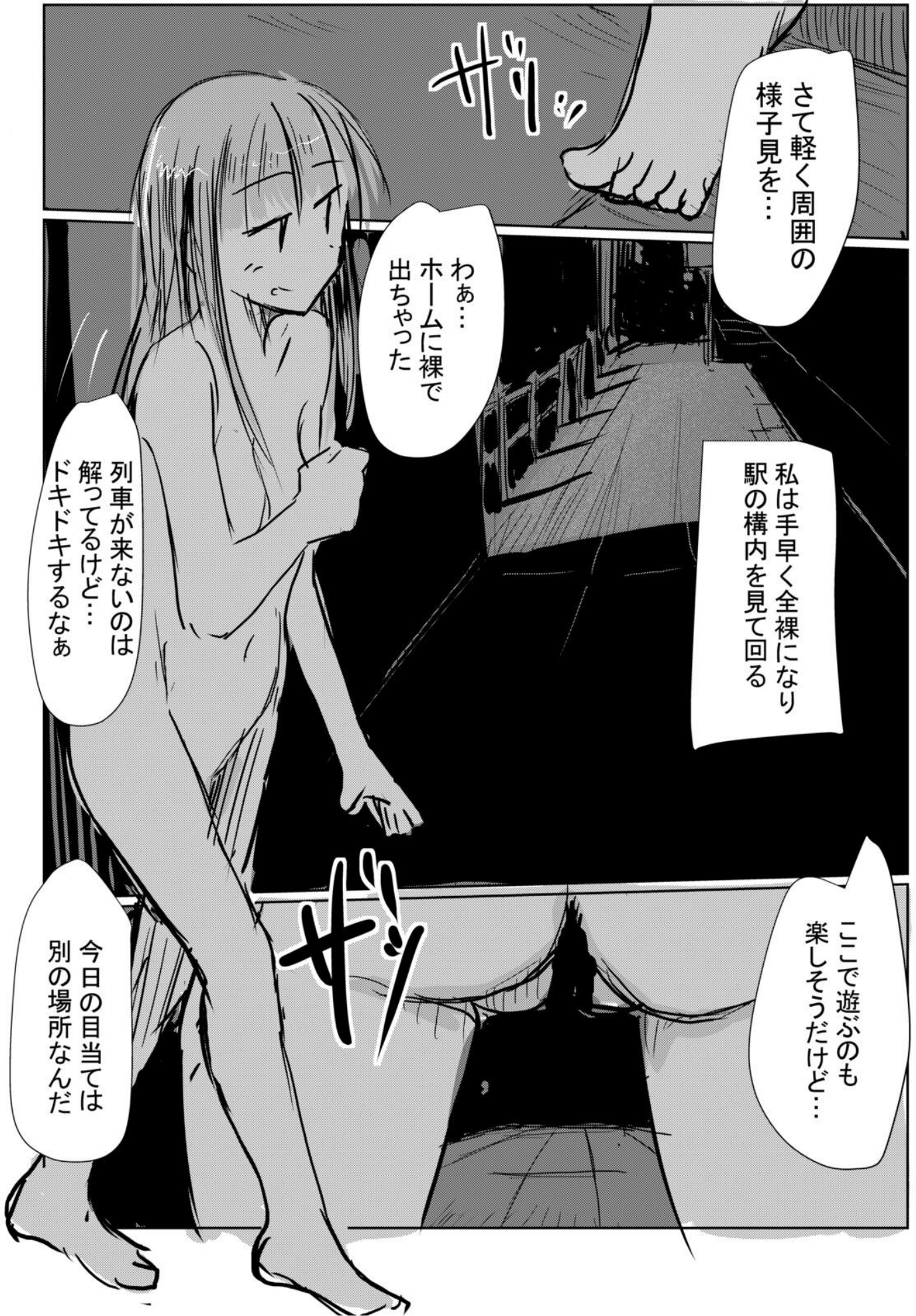
列車が来ないのは
解ってるけど…
ドキドキするなあ

ここで遊ぶのも
楽しそうだけど…

今日の目当ては
別の場所なんだ

サッ

ザッ





駅の隣にある
小さなトイレ！

目的の場所は…



シヤリ



バツ

バッグは草陰に
隠しておこう…



このトイレを
掃除する為に来たんだ

フイ



ザン

トイレに入ると
鼻をさすような
臭いが私を出迎えた

良い臭い…
お邪魔します

これは…
素敵な体験が
出来そうだ

私は時々 今日のように
安全そうなトイレを見つけ
裸で掃除する事を
趣味として生活している

あれ 小便器が
無いね…

しかも掃除器具を使わず
自分の舌や身体を使って
便器を掃除するのだ

もしかして…
おしっこは
この壁に直接？

今回は殊更古いトイレに
遭遇したようだ

うわあ…
原始的



結構汚れが
こびり付いてて

カッ
カッ
カッ

バカな行為だというのは
自覚しているのだけれど…



すごいなあ…
壁トイレか

べら

べら



何十年もオシッコを
かけられ続けた壁か

カッ

掃除し甲斐が
ありそうだね



カッ

今から綺麗に
しますね

仕事のストレス解消に
始めたこの奇行に何時の間にか
ドツプリとハマってしまい…

…病みつきに
なってしまったのだ



今では仕事もストレスも
関係なくこれの為に
生きているようなモノだ

誰も訪れない深夜に
薄暗いトイレで
便器の汚れ舐め落していると



乾いた心が
潤ってくるのだ

人間を辞め
肉製清掃用具
となった私は



あらゆる柵から
解放されたれ本能に従い
自由を満喫するのだ

ハマり過ぎて
仕事も短期バイトに
かえちやったけど
後悔はない

は、

お口だけじゃ大変だ
全身でお掃除しないと...

は、

ぎらぎら
してるね

身体で擦ったほうが
効率が良いかも

お掃除が全ての私は
それ以外はもう
どうでもいいのだ

壁にこびり付いた
汚れが私の身体に
擦り込まれる...

私のガサガサお肌と
いい勝負だね

全身で綺麗にして
あげるんだ...

んっ

壁が済んだら

溝も綺麗に
しないとね

溝には
又メリが
拡がってて…

この開放感を
覚えてしまったら

それを沢山
吸い集めて…

流せないから
飲みこんじゃった

溝の角もヌルヌルだし
これも取らないとね

もう普通の生活なんて
できる訳がない

沢山繁殖した
バクテリア…

ぐうん

アッ

すずすず
しゅしゅ

しゅしゅ

しゅ

しゅ

アッ

はー

腹でも胸でも股でも
使えるものは何でも使って…

…でも「う」って
擦ってるよ…

私にとってはこれが
幸せな日常なんだ

なんだかトイレで
エッチな事してるみたい…

私の想いを
トイレに伝えるんだ

ほ
ほ

は、

は、

アッ

アッ

アッ



お掃除を
してるはずなのに

大好きなトイレと
触れ合えるのなら
他はいつでもよくて…

これだとトイレに
発情した雌みたい！

必死にトイレに
おマンコを擦りつけて…

気持ち良くて
腰が止められない

今の私は
掃除用具なんだから
真面目にやらないと…





でも…
駄目ッ

我慢
できないよ



一方通行の
想いだけれど

私はトイレを
愛しているんだ



お掃除自体が
求愛行動で…

トイレを相手に
発情してるんだ

ああ…もう
自分を
止められない

このまま人間を辞めて
トイレのお嫁さんになって



ずっとここで
過ごしたいな...

何ものにも邪魔されない
至福の時間...この為だけに
私は日々生きている

さてお掃除の
続きを…

ゴソゴソ

次は…

ゴソゴソ

おお…
これは

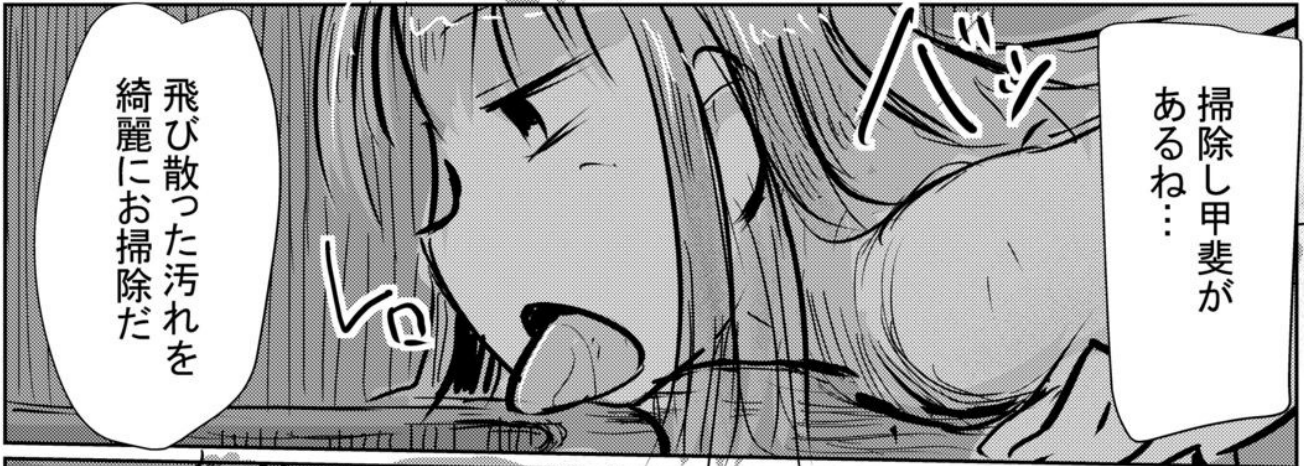
全穴の
ポットン便所！

すごい…
初めて見た

ゴソ

ふふ…

素敵



掃除し甲斐があるね…

飛び散った汚れを綺麗にお掃除だ



便器の底は真っ暗闇吸い込まれそう…

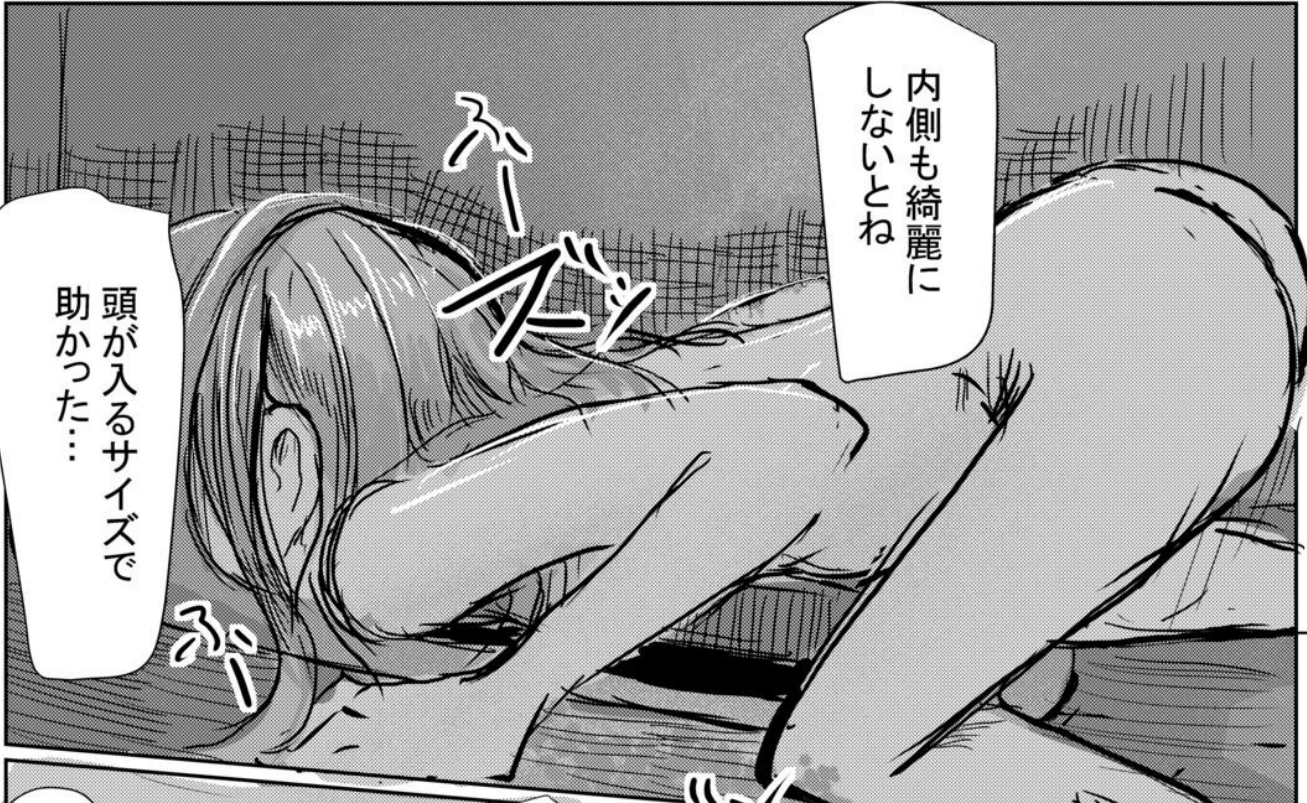
呑まれない様に気を付けないと

こびり付いた黒い塊を唾液で溶かして…



溶けたら舐めとって…キレイに飲み込んで

フチを丁寧にお掃除したら…



内側も綺麗に
しないとね

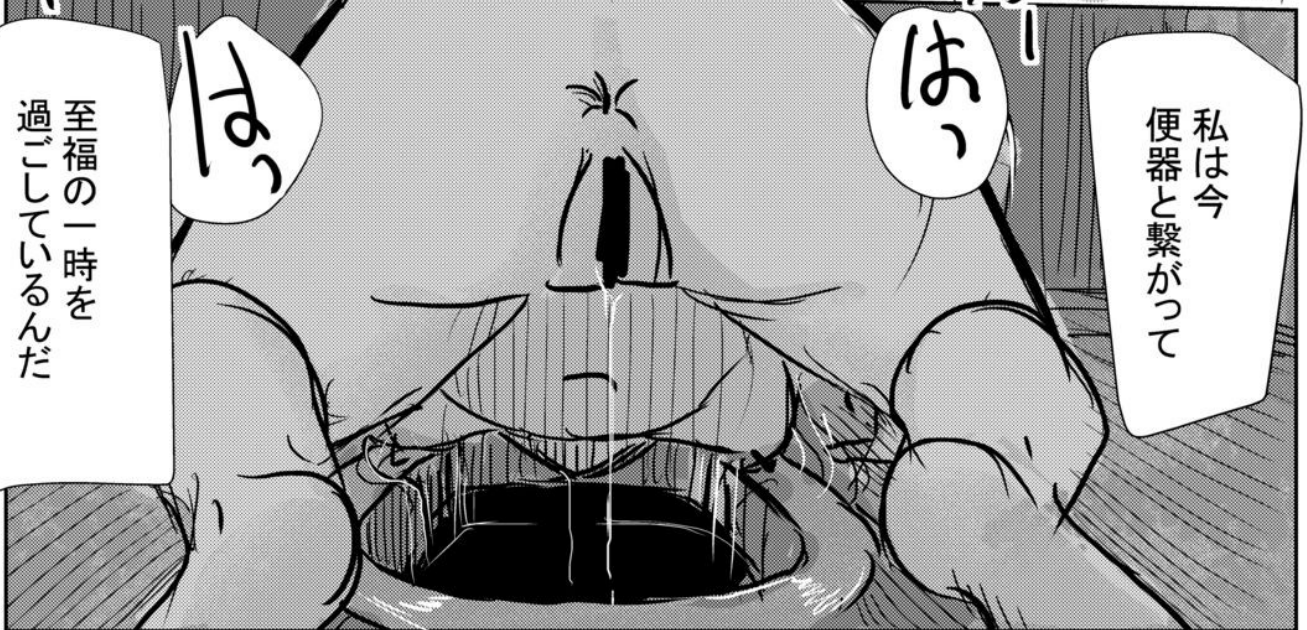
頭が入るサイズで
助かった…



髪も舌も
全部を使って…

ああ…

幸せ



私は今
便器と繋がって

はっ

はっ

至福の一時を
過ごしているんだ

月の光が差し込んで
汚れがよく見える…

は

は

は

は

は

く

く

ここを舐め取ったら
お掃除は完了だ…
次は何をしよう？

あれは…

ん

く

トイレの
お掃除ブラシ！

大変だったね

こんなに
汚れが付いて…

これだと
使えないよね

便槽から拾い上げたのは
便器用掃除ブラシだった

落ちて暫く経つのか
ブラシは糞便まみれで
酷いありさまだ

塊は流石に
抵抗があるけど…



私よりも役立つ
掃除用具なんだから
お手入れしないと…

綺麗に
してあげるね…

ぬちゃ

まずはブラシについた
大便を拭い取って…

うわ…結構
柔らかい…

んんん

ぬ

細かい汚れは
お口に含ん唾液で
溶かして…

はさ

何度も何度も
吸い取って

はま

じゅぶじゅぶにして
飲み込んで…

びび

じゅぶ
ずわ

身体の外も中も
ウンコまみれ

だいぶ綺麗に
なったね…

あとは
仕上げに…

「」のブラシを

おマンコの中
に咥えこんで

ズググ

そして…

芯にこびり付いた
大便を愛液と体温で
じつくり溶かしたら…

ブラシの
掃除開始！

は

んは

は

グ

ズグ

ズ

グ

ブラシを
出し入れすると

汚れが全部
中に溶け落ちて...

おまんこの中が
削れちゃう

私のおまんこが
糞便で満たされていく

で...でも
頑張らなきゃ!

これ...
無理かも...

ッ...
ヤバ...

ズル

ズル

ガク

ガク

ズル

んんん

!!

!!

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり

びり



ブラシが隆壁を
擦りあげる度に

大先輩なんだから
綺麗にして
労わってあげないと！

このまま
続けたら…

ガバガバ穴に
なっちゃおう！

強烈な刺激に
全身に震えが走る

おまんこ
くずれるっ！

はっ

はっ

ギョッ

グッ
グッ
グッ

ゴッ

グッ
グッ



何時間たつたんだろう
外はまだまだ月夜の世界

お掃除ブラシは
ピカピカだ

カラッ

私役に立ってるよね？
「ここ」のまま
備品になりたいなあ

毎日毎日
きつと楽しいはず…

トイレさん 私を
貰ってくれるかな

